

令和 6 年度実施事業（令和 5 年度採択事業）

種別	行政提案型
提案団体	一般社団法人トムテのおもちゃ箱
市担当課	水産振興課
事業名	ナガサキのサカナ魅力再発見事業
事業目的	<p>「魚のゆりかご」と言われるほど魚種が豊富な東シナ海に面する長崎は、全国一の魚種の豊富さのみならず、漁業就業者数（人口千人対）が全国一位（H30 漁業センサス）、漁業産出額は全国二位及び海面漁業漁獲量は全国三位（いずれも R3 漁業・養殖業生産統計）を誇る全国屈指の水産県であり、他都市からも「サカナの町」として一定の評価を得ている。にもかかわらず他都市同様魚食離れが進行しており、特に若い世代においてその傾向が顕著である。このため本事業では小学生を対象に、「サカナ」をテーマとしたワークショップを実施し、地元長崎の豊かな食材としての「サカナ」についての理解を深め、身近な食材として再認識することを目的とする。同時に、全国でもトップシェアを誇る長崎の水産業についての学びを深めながら、自分達の住む町の魅力を再認識し、子ども達のシビックプライドを醸成することをも目的とする。</p>
事業内容	<p>1. プログラムの開発 「オサカナワークショップ」で活用するプログラムの開発を行う。 担当課と連携を取りながら、実際のデータをもとに子ども達が興味を持ちやすい内容のプログラムの開発を行う。</p> <p>2. 「オサカナワークショップ」開催 内容：学童期の子ども達に人気のカードゲーム『ギョッと』の長崎県版を活用し楽しく遊びながら、長崎のサカナ等豊かな水産資源についての理解を深めると同時に長崎の魅力について再認識できるようなワークショップを実施する。ワークシート等を作成し、ワークショップ終了後も教室の一部に掲示をお願いする等、子ども達への継続的なアプローチに努める。 対象：小学生 参加予定者数：40名/回 実施回数：20回 実施場所：主に市内学童保育クラブ</p> <p>3. 長崎のサカナ普及啓発活動 内容：学童期の子ども達に人気のカードゲーム『ギョッと』の長崎県版を市内全ての学童へ配布。日常的な遊びを通して長崎ならではの「サカナ」について身近に感じてもらい、「サカナ」についての理解を深める機会を提供する。同時に「オサカナワークショップ」の募集チラシも同封し、ワークショップの実施につなげる。 対象：市内の学童保育クラブ（95カ所） 配布個数：1ヶ/1カ所</p>
経費種別	委託料
総事業費(円)	920,000円
市負担額	920,000円

種別	市民提案型
提案団体	ニュースタ長崎
市担当課	スポーツ振興課
事業名	医療系国家資格者によるスポーツの大会救護活動とケガ予防・運動能力向上事業
事業目的	<p>○医療系国家資格者によるスポーツの現場でのケガに対する【初動】と【予防】で支えるサポート体制の構築</p> <p>①スポーツの現場におけるケガや事故に対するサポート体制の構築</p> <p>スポーツの現場において、必要に応じトレーナーを配置する体制を定着させ、ケガや事故発生時に最良の【初動】をおこない、スポーツの現場に関わるすべての人々が安心、安全に競技で躍動できる環境を創造する。</p> <p>② ケガを未然に防ぐための知識と運動能力の向上</p> <p>ケガや事故発生時の【初動】と同様に大事なのが、ケガを未然に防ぐ【予防】。体験型のセミナーを通して、ケガをしにくい身体作りと運動能力向上を図る。</p>
事業内容	<p>① 大会救護トレーナー活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの現場で、医療系国家資格（柔道整復師、鍼灸師、理学療法士等）を有したトレーナーがケガや事故発生時の対応をおこなう。 <p>(1) 救急搬送の見極め</p> <p>(2) スポーツ傷害の応急処置</p> <p>(3) アフターケア（その後のアドバイスや適切な医療機関へのご案内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市で開催の【中学の部】の主要大会における大会救護トレーナー活動 <p>※今後、活動するトレーナーを増やし、多くのカテゴリーや競技に活動を拡大していく。</p> <p>② ケガ予防と運動能力向上セミナー</p> <p>選手・指導者・保護者等、スポーツに関わる方々に対し、医療系国家資格者（理学療法士、柔道整復師、鍼灸師など）が、スポーツ医科学的な視点からストレッチ、トレーニング、動作指導等の講義を行い、ケガの予防と運動能力向上をおこなう。</p> <p>（１） コーディネーション運動の実施で走能力、ジャンプ、俊敏性向上 （動作バリエーション増加）</p> <p>（２） 人間発達学・スポーツ医学的に運動経験の蓄積</p> <p>（３） 成長阻害因子の把握と除去</p> <p>（４） 自分の身体を知り、動くことへの興味を引き出す。動きの引き出しを増やす。</p> <p>（５） 身体を動かす楽しさ、成功体験から運動有能感が高まり、苦手意識の克服。 身体的ストレス軽減。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：小学生、中学生 ・年間3 回実施 ・所要時間：90 分（例. 講習30 分、実技60 分）
経費種別	補助金
総事業費(円)	440,000 円
市負担額	352,000 円